

平成30年度 荒川さつき会館にある平和に関する本

しょうがっこう ねんせいむ
小学校1～2年生向け



火のカッパ
著：うるしばら ともよし 絵：やまなか ももこ
ゲンタが成長するにつれて、戦争の影がしのびよってくる。そして、東京大空襲の日。家族とはぐれてしまったゲンタに、戦火が迫ってくる。



赤ちゃんの母の火の夜
作：早乙女 勝元 絵：タミ ヒロコ
東京大空襲直前に生まれた赤ちゃんは、13人兄妹の末っ子。その母子を、焼夷弾の炎の中、布団にくるんで運び、守りきった看護師さんたち。でもその時、12人の兄妹、家族は……。



8月6日のこと
作：中川 ひろたか 絵：長谷川 義史
絵本作家・中川ひろたかが、広島で亡くなった自分の伯父、被爆者となった自分の母の体験を伝え、子どもたちへ問いかける。



伸ちゃんのさんりんしゃ
作：児玉 辰春 絵：おぼ まこと
あの日、三輪車とともに一人の少年が原爆にたおれた。戦後70年、赤さびた三輪車が語るヒロシマ。



かあさんは どこ?
作：クロード・K・デュボワ
戦争から遠いはずのまちに、突然の砲撃。恐ろしい音がどんどん大きくなって、近づいてくる。家は、めちゃくちゃに壊され、家族はだれひとりいない。「かあさんは どこ? みんなは?」

しょうがっこう ねんせいむ
小学校3～6年生向け



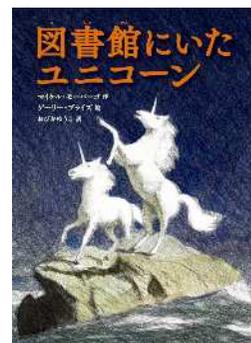
出発 から草もようが行く
作・絵：小泉 るみ子
朝早く、浩は家を出ました。結婚が決まったねえさんの嫁入り道具を運ぶのです。予科練に志願して命は国にささげるのだと思っていました。それなのに、今日からは生きるといわれても……。



平和への祈り
著：手塚 治虫 監修：中野晴行
戦争の時代に生まれた手塚治虫は平和を願う心が人一倍強く、数多くの作品を残しています。自伝的傑作「ゴッドファーザーの息子」、や、戦争の不条理を描く「墜落機」など6話を収録。



この計画はひみつです
文：ジョナ・ウィンター 絵：ジャネット・ウィンター
ニューメキシコの砂漠の名もない町に、科学者たちがやってきました。ひみつの計画のために、政府にやとわれた科学者たちです。計画は極秘とされ、だれひとり情報をもりません。思いもよらないものが作られているにちがいありません。



図書館にいたユニコーン
作：マイケル・モーパーゴ 絵：ゲーリー・プライズ
主人公のトマスは山や森の自然のなかで遊ぶのが大好き。ところが、お母さんに無理やり連れて行かれた図書館で、素晴らしい司書と木でできたユニコーンに出会う!



シゲコ! ヒロシマから海をわたって
文：菅 聖子
広島で被ばくし、アメリカにわたった、シゲコ。笹森恵子さんの半生を追いかけたノンフィクション。

これらの本は、荒川区 教育委員会指導室学校図書館支援室の協力を得て選定しました。